

## 理科・環境教育助成 成果報告書

第3回 期間：2005年11月～2006年10月

氏名：安藤 正彦

所属：横浜市立二つ橋小学校

課題名：地球にやさしい環境について考えよう

### 1. 課題の主旨

本校は、瀬谷市民の森に隣接した場所にあり、校内にも多数の樹木を植え、自然園、グリーンガーデンと呼ばれている中庭を持つ緑豊かな学校である。また、「グリーン購入」「森林の役割」「ごみの分別・リサイクルの推進」「省エネルギー」に取り組んでいる。

わたしたちの周りにあるこの豊かな自然を大切にしていきたい、わたしたちの生活とのかかわりを考え、この環境を守っていくために自分たちにできることを行っていききたい、そして、地域の人々にも伝え、活動していきたいと考え、課題を設定した。

### 2. 活動状況

#### ① 環境教育全体計画の見直し

職員の環境委員会を中心に、学校環境を生かした環境教育への取り組みを洗い出し、全校・学年・委員会活動別に具体的に表した。

#### ② 各学年の環境教育年間計画の作成

教科学習との関連をはかり、本校の環境を生かした年間計画の作成に取り組んだ。外部講師による出前授業なども積極的に取り入れ、学年としての環境教育の重点化をはかった。

#### ③ グリーン購入の推進

「グリーン購入推進」は5年生を中心に取り組んできた。ごみの分別には学校でも家庭でも取り組んでおり、みんなの関心も高い。しかし、ものを買うときに、必要かどうかを考えて、できるだけ環境にやさしいものを選ぶグリーン購入についての意識はそれほど高くないように思われる。これもG30につながる大切な活動である。そこで、3年生の社会科学習「わたしたち二つ橋お店たんけんたい」5年生の総合的な学習「環境にやさしい買い物～やってみようグリーン購入～」を通してグリーン購入について学び、活動の推進をはかった。

#### ④ G30の推進

各学級、児童会活動、職員の取り組みを通して推進した。また、共通理解をはかり、連携を取りながら活動できるようにした。

### ⑤ NPO団体など外部講師による効果的な学習の推進

どのような外部講師がいるのか、どの学習で出前講座を開くと効果的なのかをそれぞれの学年で検討し、各学年の年間計画の中に位置付け、計画的に学習が進められるようにした。

- ・ 4年生 「下水道の役割や仕組み」 水道局職員
- ・ 4年生 「ごみの分別・リサイクルの推進」 資源循環局職員
- ・ 5年生 「森林の役割」 ナウシカの会（NPO）
- ・ 5年生 「エネルギー教室」 東京電力
- ・ 5年生 「天気の変化」 横浜地方気象台
- ・ 6年生 「酸性雨の原因と現状」 横浜環境科学研究所

### ⑥ 屋上緑化実験

省エネルギー、物理的環境改善、生理・心理的作用、建築物の保護、スペースの利用、都市気象の改善、自然との共生といった効果を考え、屋上緑化実験を行った。

2階テラス部分に防水シートをはり、その上に水苔、パーミキュライトと吸水ジェル、培養土を入れ、西洋芝を植え付けた。効果を検証しつつ、実験を継続していきたい。

## 3. 結果

- 各学年、教科学習との関連を図った環境教育の年間計画を作成した。
- 環境教育としての単元開発を行い、実践例として資料の蓄積を行った。
- 「グリーン購入の推進」については、3・4・5・年生を中心に教科学習と関連をはかりながら取り組んだ。
- 省エネルギー・ごみの減量については、学校全体で取り組み、意識が高まってきている。ごみの分別・リサイクルの推進は成果をあげている。
- 外部講師による学習の推進についても、学年の学習内容に合わせて、効果的な学習を進めることができた。
- 屋上緑化実験では、省エネルギーの推進、自然との共生を進めることができた。

## 4. 今後の課題と発展

- 年間活動計画の検証と新たな単元開発
- 学年相互の関わりや学年を追った学習の進め方の研究
- 校地の有効活用と計画的な活用（花壇、グリーンガーデン、自然園等）
- 各学年の重点目標の設定とそれに向けた取り組み
- 屋上緑化実験の継続と発展

## 5. 発表論文、投稿記事及び当財団へのご意見など